


# 株式会社ツムラ 2015年度決算の概要

(2015年4月1日～2016年3月31日)

2016年5月13日 (金)

代表取締役社長

加藤 照和



# 2015年度決算

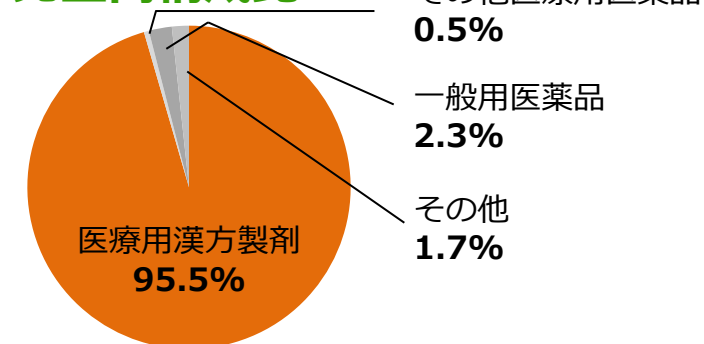
# 2015年度決算の概要

(百万円)

	2015年度 計画	2015年度 実績	達成率	2014年度 実績	前期比	
					金額	伸長率
<b>売上高</b>	<b>113,000</b>	<b>112,625</b>	<b>99.7</b>	110,438	<b>2,186</b>	<b>2.0</b>
売上原価 売上原価率	46,000 (40.7%)	45,055 (40.0%)	97.9	41,859 (37.9%)	3,196	7.6
売上総利益 売上高総利益率	67,000 (59.3%)	67,569 (60.0%)	100.9	68,578 (62.1%)	-1,009	-1.5
販管費 売上高販管費率	49,000 (43.4%)	47,743 (42.4%)	97.4	49,087 (44.4%)	-1,343	-2.7
<b>営業利益</b> 営業利益率	<b>18,000</b> (15.9%)	<b>19,826</b> (17.6%)	<b>110.1</b>	19,491 (17.6%)	<b>334</b>	<b>1.7</b>
<b>経常利益</b>	<b>18,300</b>	<b>19,494</b>	<b>106.5</b>	21,583	<b>-2,089</b>	<b>-9.7</b>
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	<b>12,200</b>	<b>12,557</b>	<b>102.9</b>	14,075	<b>-1,517</b>	<b>-10.8</b>

	2015年度 計画	2015年度 実績	2014年度 実績
E P S	173円	178円	199円
R O E	8.0%	8.3%	10.1%

売上高構成比



# 決算のポイント

- 漢方販売の堅調な推移により増収。生薬関連コストが増加するなか、経費抑制等により連結営業利益は増益を確保。

連結売上高 **112,625** 百万円 計画達成率 **99.7%** 前期比 **2.0%**

- 医療用漢方製剤の販売が堅調に推移したこと等により、連結売上高は前期比2.0%増となった。計画達成率は99.7%で着地。
- 育薬5処方（大建中湯、六君子湯、抑肝散、牛車腎気丸、半夏瀉心湯）合計 売上伸長率：2.1%
- 疾患・症状別アプローチ対象77処方（4月スタート、7月スタート、育薬は除く）合計 売上伸長率：2.6%

営業利益 **19,826** 百万円 計画達成率 **110.1%** 前期比 **1.7%**

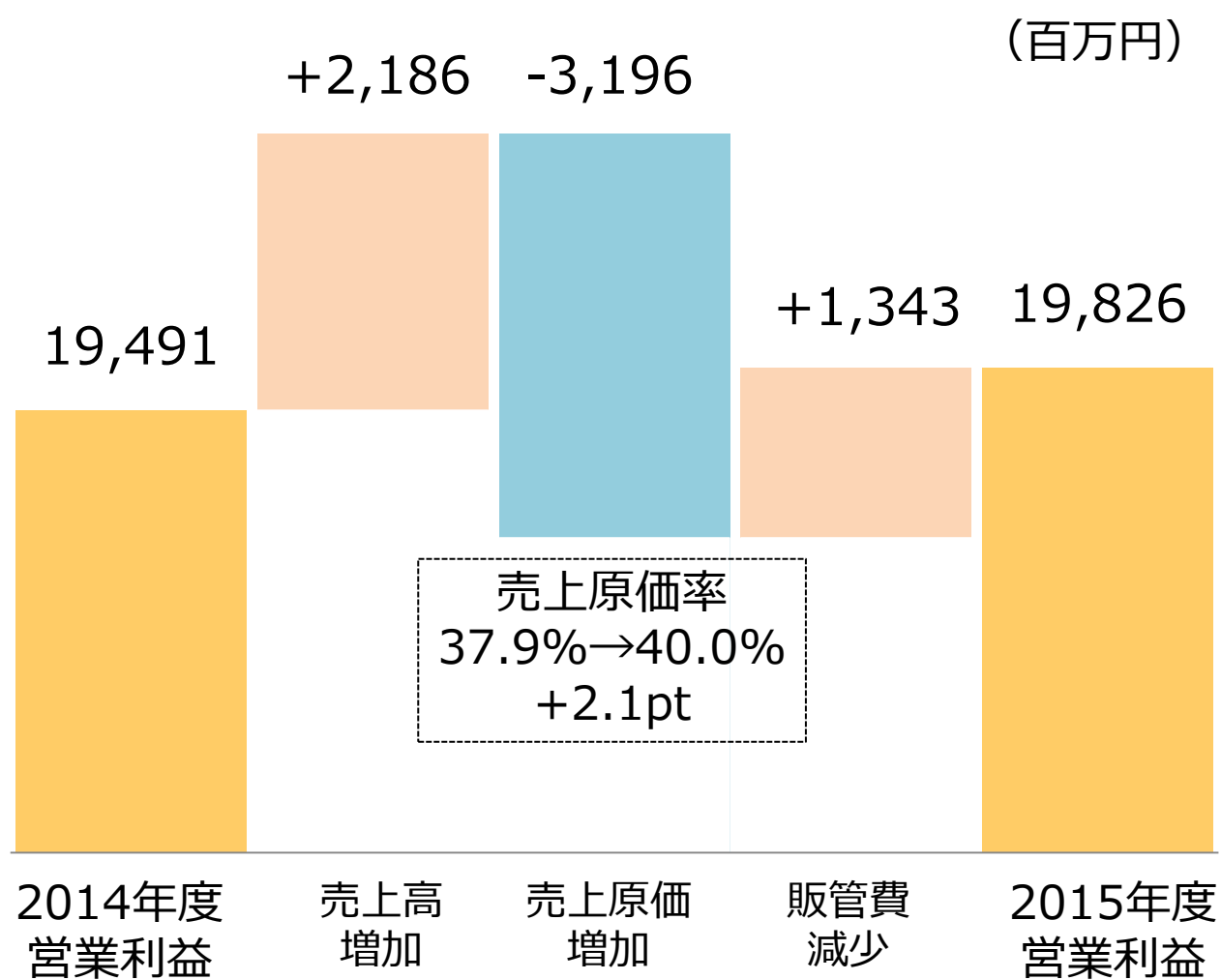
営業利益率 **17.6 %** 前期比 **Opt**

- 売上原価率は、生薬関連コストが増加したこと等により、前期比2.1ポイント上昇の40.0%となった。計画に対しては、加工費の抑制等により、0.7ポイント下回った。
- 販管費率は、業務効率化に伴う経費の抑制等により、前期比2.0ポイント低下の42.4%となった。計画に対しては、上記要因を含め1.0ポイント下回った。

経常利益 **19,494** 百万円 計画達成率 **106.5%** 前期比 **-9.7%**

親会社株主に帰属する  
当期純利益 **12,557** 百万円 計画達成率 **102.9%** 前期比 **-10.8%**

# 営業利益の増減要因



(百万円)

売上高増減内訳	
医療用漢方製剤129処方	+2,405
その他	-219
売上原価率増減内訳	
生薬関係コスト上昇	+2.6pt
加工費の抑制	-0.7pt
その他	+0.2pt
販管費増減内訳	
販促費、感謝金	-217
研究費	-284
広告宣伝費	-129
人件費	-344
その他	-367

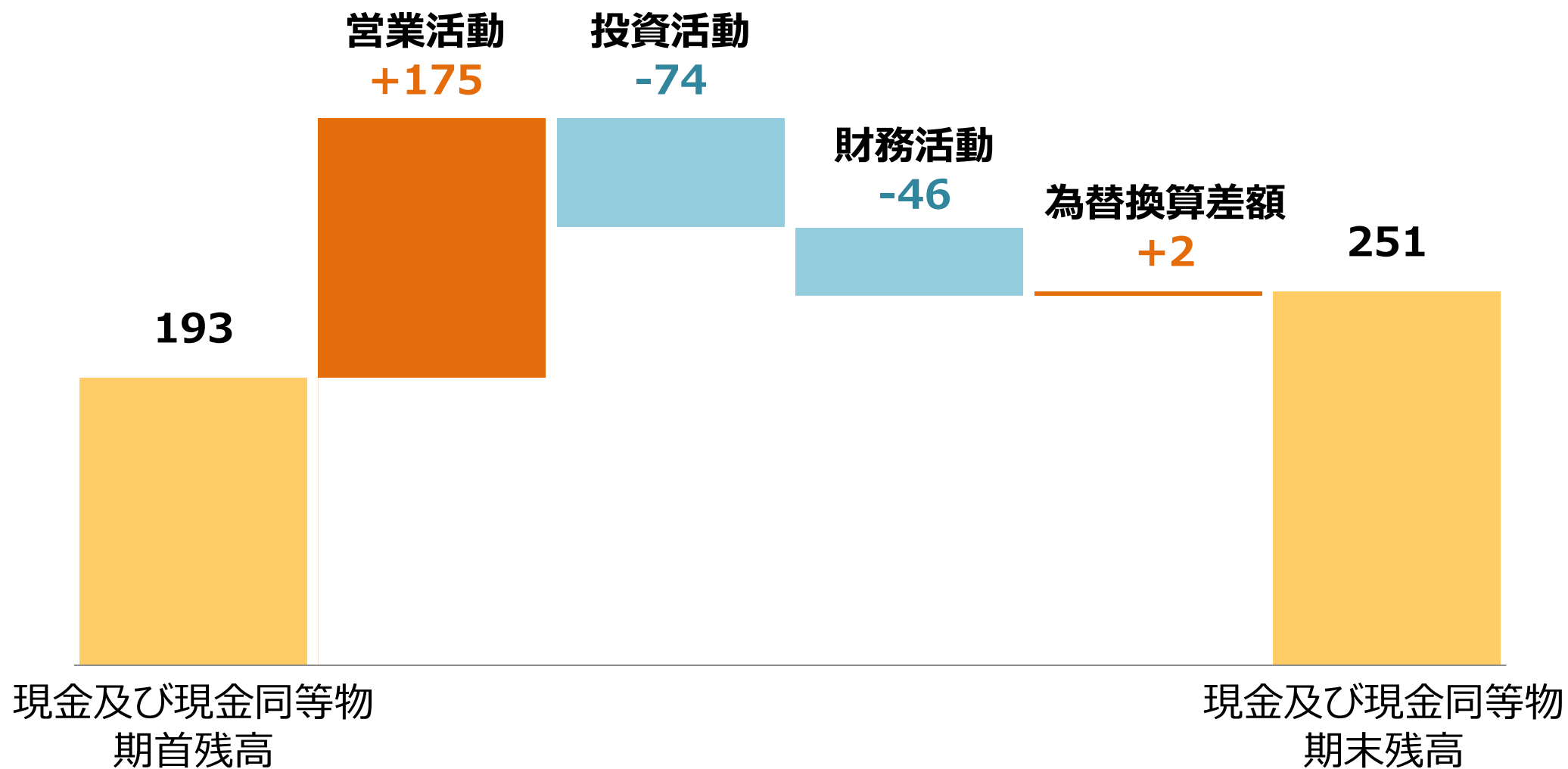
# たな卸資産の増加分析

(億円)

B/S	2014年度末	2015年度末	前期比	影響要因			
				数量	生薬単価	為替	その他
たな卸資産	507	523	16	-17	44	-7	-2
(商品及び製品)	88	84	-4	-5	2	-	-1
(仕掛品)	132	124	-8	-14	6	-0	0
(原材料及び 貯蔵品)	285	314	29	2	36	-7	-2



# キャッシュ・フローの状況

(億円)



# 設備投資

☆ 稼働予定時期

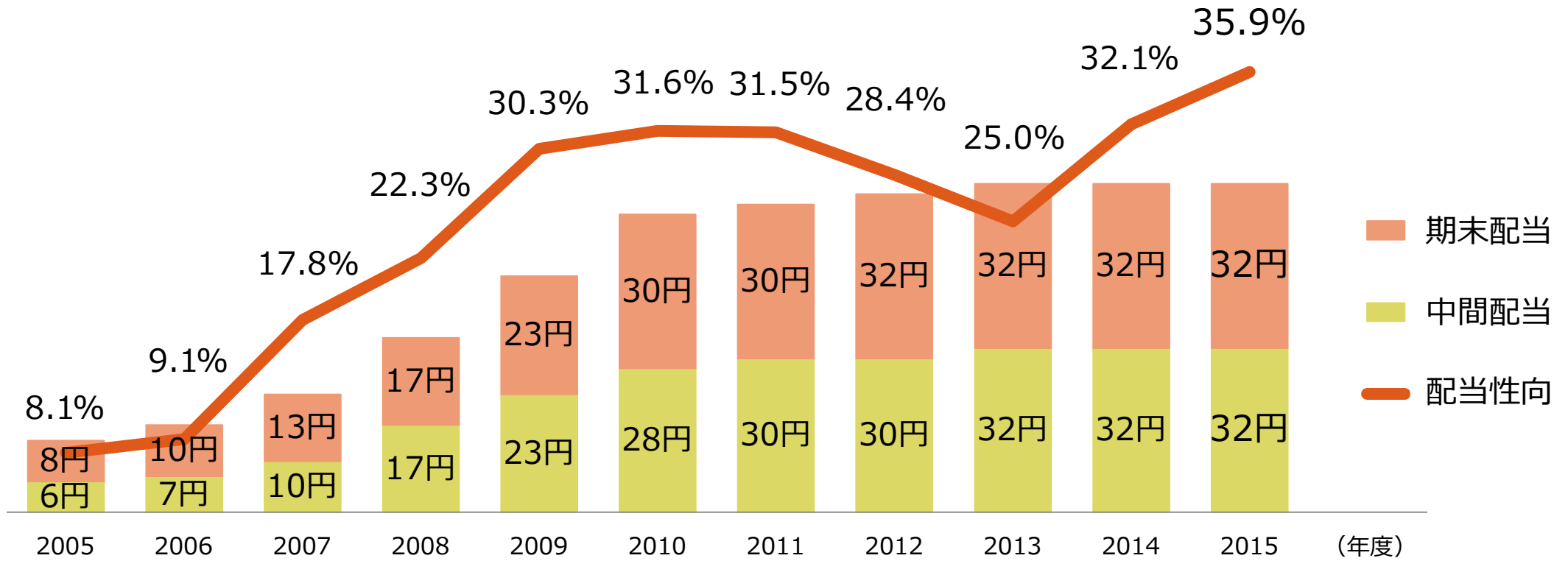
	投資案件	第1期中計				新中計
		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度以降
生産関連	静岡工場	新造粒包装棟など				2016年9月
		新生薬倉庫		5月		
		SDライン関連				☆
	茨城工場	新造粒棟		2月		2月(増設)
		新規製造棟など				☆
	STP (上海)	SD棟		9月		
生産その他	開発・維持・更新など					
生薬関連	石岡	石岡センター再構築		1月		
	STM (深圳)	倉庫	3月			
	夕張	夕張ツムラ建屋				9月(第2期)
	生薬その他	維持・更新など				

設備投資額： 2012年度95億円 2013年度92億円 2014年度97億円 **2015年度104億円**


今後も、販売動向等をふまえた生産設備の稼働時期の見直しを適宜実施する



# 株主還元



(注)  
2015年度の期末配当金および配当性向については、第80回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載



# 2016年度業績予想


# 2016年度業績予想

(百万円)

	2015年度	2016年度 予想	前同比	
			金額	伸長率
<b>売上高</b>	<b>112,625</b>	<b>115,400</b>	<b>2,774</b>	<b>2.5%</b>
売上原価 売上原価率	45,055 (40.0%)	50,700 (43.9%)	5,644	12.5%
売上総利益 売上高総利益率	67,569 (60.0%)	64,700 (56.1%)	-2,869	-4.2%
販管費 売上高販管費率	47,743 (42.4%)	50,200 (43.5%)	2,456	5.1%
<b>営業利益</b> 営業利益率	<b>19,826</b> <b>(17.6%)</b>	<b>14,500</b> <b>(12.6%)</b>	<b>-5,326</b>	<b>-26.9%</b>
<b>経常利益</b>	<b>19,494</b>	<b>15,000</b>	<b>-4,494</b>	<b>-23.1%</b>
親会社株主に帰属する <b>当期純利益</b>	<b>12,557</b>	<b>10,700</b>	<b>-1,857</b>	<b>-14.8%</b>

	2015年度	2016年度予想
配当金 (1株当たり)	64円	64円
E P S	178円	152円
R O E	8.3%	6.9%

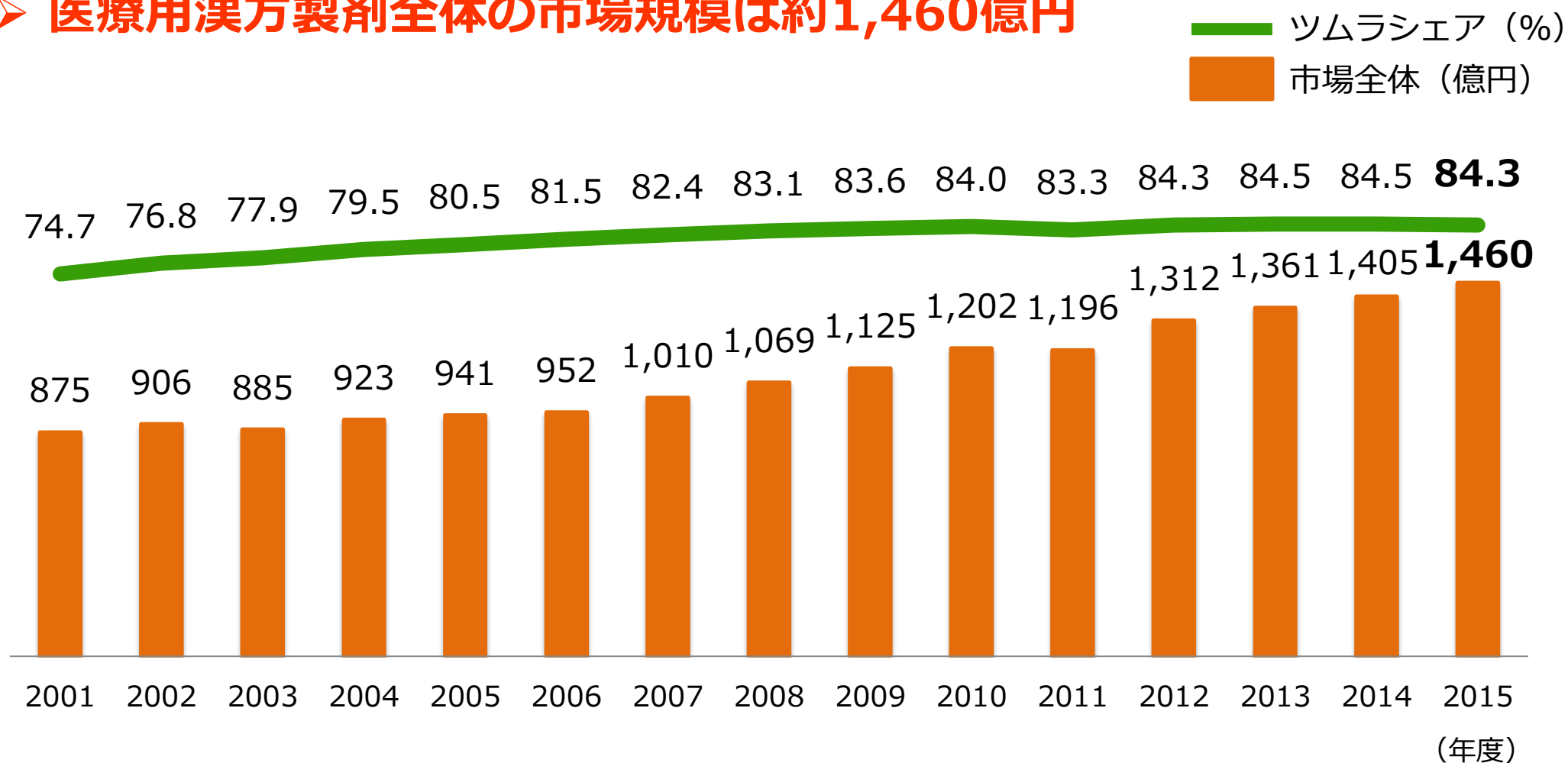
- 売上高は医療用漢方製剤の伸長傾向、薬価改定等をふまえ1,154億円（2.5%増）と予想。
- 利益は一部の原料生薬の価格上昇及び為替の影響等により、営業利益145億円（26.9%減）、経常利益150億円（23.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益107億円（14.8%減）を見込む。
- 配当金は、1株あたり配当金額を中間32円、期末32円（年間64円）とする方針。



# 參考資料

# 医療用漢方製剤の市場動向

➤ 医療用漢方製剤全体の市場規模は約1,460億円



Copyright 2016 IMSヘルス「JPM2002年3月MAT ~ 2016年3月MAT」をもとに作成  
無断転載禁止

# 医療用漢方製剤 売上高トップ10・育薬処方

(百万円)

順位	処方名	主な効能・効果	2015年度	2014年度	比較増減	
1	大建中湯	腹痛、腹部膨満感	10,273	9,993	279	2.8%
2	抑肝散	神経症、不眠症など	7,215	6,895	319	4.6%
3	補中益気湯	病後の体力増強、食欲不振など	6,968	6,965	3	0.1%
4	六君子湯	胃炎、消化不良、食欲不振など	6,604	6,633	-29	-0.4%
5	芍薬甘草湯	急激におこる筋肉のけいれんを伴う疼痛、筋肉・関節痛など	4,688	4,440	247	5.6%
6	麦門冬湯	咳、気管支炎、気管支喘息	4,494	4,178	316	7.6%
7	加味逍遙散	冷え症、月経不順、更年期障害など	4,465	4,285	179	4.2%
8	牛車腎気丸	下肢痛、腰痛、しびれ、排尿困難など	3,838	3,814	23	0.6%
9	柴苓湯	急性胃腸炎、むくみなど	3,351	3,308	42	1.3%
10	葛根湯	感冒、鼻かぜ、肩こりなど	3,253	2,986	267	9.0%
20	半夏瀉心湯	醗酵性下痢、神経性胃炎、口内炎など	1,250	1,230	20	1.7%
医療用漢方製剤 129 処方計			107,599	105,193	2,405	2.3%
育薬 5 処方計			29,182	28,568	613	2.1%

育薬処方

本資料に関するお問い合わせ先

---

株式会社ツムラ  
コーポレート・コミュニケーション室  
I R 推進グループ  
TEL : 03-6361-7101

### 見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 現在発売している主要製品が、万が一製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。